

2024年度 総合型選抜 学生募集要項

- 総合型選抜（中国・四国地域出身者枠）【専願】
- 総合型選抜（霧島市地域枠）【専願】
- 総合型選抜（特定診療科専攻枠）【専願】

◎試験場付近は、自動車等の乗り入れができません。**必ず公共交通機関を利用してください。**

◎学生募集要項の公表後や出願期間後であっても、緊急措置として試験日程や選抜方法等を変更する場合があります。その場合は、本学ホームページ（<https://m.kawasaki-m.ac.jp/>）でお知らせしますのでご注意ください。



川崎医科大学

川崎医科大学

建学の理念

ひと
人間をつくる 体をつくる 医学をきわめる

目 的

本学は、有能にして社会の要請にこたえ得る医師を養成することを目的とする。

使 命

本学は、良医を世に送って社会福祉に貢献し、医学の進展に寄与するため次の目標の達成に努める。

1. 人間愛を基調とする知性と道徳性をかん養して、医の倫理を体得すること。
2. 重大な使命と責任を果たすため、強健な意志と体力を養うこと。
3. 近代医学の深奥を究め、進んで新分野を開拓すること。

教育目標

このような医師を育てます。本学が育成する「良医」とは

1. 患者から信頼される、人間性豊かな医師
2. 幅広い守備範囲の知識と技能を持ち、広く国民に信頼される有能で心優しい医師
3. 全人的医療ができるだけでなく、専門性を持った医師
4. 研究マインドを持ち、新しい医学に貢献できる医師

川崎医科大学附属病院・総合医療センター

病院理念

1. 医療は患者のためにある
2. すべての患者に対する深い人間愛を持つ
3. 24時間いつでも診療を行う
4. 先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
5. 地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

問
い
合
わ
せ
先

川崎医科大学 教務課入試係

TEL : 086-464-1012

FAX : 086-464-1019

MAIL : nyushi@med.kawasaki-m.ac.jp

対応時間 : (平日) 9:00 ~ 17:00

(土曜日) 9:00 ~ 12:30

日曜日、祝日及び時間外は受け付けません。

I. 3つのポリシー	3
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	3
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	4
卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	5
II. 出願する前に（該当者のみ）	6
1 個別の入学資格審査	6
2 疾病・負傷や障がい等がある入学志願者の事前相談	6
III. 総合型選抜	7
（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）【専願】	7
1 募集人員	7
2 出願資格	8
3 出願期間	9
4 出願書類	9
5 入学検定料	10
6 試験日程・試験科目・選抜方法等	11
7 受験上の注意	11
8 合格発表	12
9 入学手続	14
10 入学前学習	14
11 学納金	14
12 学生寮	14
13 寄附について（保護者の方へ）	14
14 奨学金制度等	14
15 個人情報の取り扱い	15
16 Q&A	15
17 試験場案内	16
IV. Web 出願	17

I. 3つのポリシー

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

川崎医科大学は、建学の理念に基づき、社会の要請に応え得る有能な医師を養成することを目的として定め、その達成のために教育目標及び卒業認定・学位授与に関する方針に示す医学部卒業時の到達目標を掲げて、「良医」を育成する教育を行っている。

本学で学ぶために必要な以下の資質と姿勢を備え、さらに、これらを入学後も知的な好奇心をもって主体的に発展させることのできる人材を受け入れる。

求める人材像

1. 意志と情熱

地域社会に関心を持ち、医学・医療を通して、そこで生活する人々の健康と福祉に貢献する強い意志と情熱を有する。

国内外の医療に関心を持ち、広い視野から人々の健康と福祉に関わろうとする姿勢を有する。

2. 共感と協調

他者の尊厳を尊重し、他者の「こころ」や「痛み」に共感できる思いやりと優しさをもって行動できる。

他者と良好な関係を築き、協働するための基本的なコミュニケーション能力を有する。

チーム内に生ずる困難に対して、誠実かつ柔軟に対処する姿勢を有する。

自らの考えを簡潔に分かりやすく伝えることができる。

3. 自律と継続

自らの健康を維持管理し、規則正しい生活ができる。

他者の意見を素直に聞く姿勢を有し、自らの向上につなげることができる。

社会規範を守り、また、礼節をもって他者に信頼される行いができる。

4. 知識と技能

基礎的な知識と技能を幅広く体系的に修得している。

自らの知識と技能を持続的に発展させることができる学習能力を有する。

5. 論理的思考力と課題解決力

未知の課題にチャレンジするとともに、筋道を立てながら解決しようとする姿勢を有する。

課題解決のプロセスや結果を的確に発信するための基本的な表現力を有する。

入学までに求める学習成果

高校で履修するいずれの科目においても、知的な好奇心をもって積極的に学習し、体系的な知識と確かな応用力及び自律的な学習能力を身につけていることを求める。さらに、多様な人々との協働による学習経験や活動経験を有し、その中で培われた対応力・文章力を含むコミュニケーション能力を身につけていることを求める。

入学者選抜方針

本学の求める人材像に適合し、入学までに求める学習成果を身につけた人材を選抜するため、総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）、学校推薦型選抜（附属高等学校）、一般選抜、地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）を実施する。

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠）及び地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）では、地域医療に意欲のある者を選抜する。

総合型選抜（特定診療科専攻枠）では、本学が指定する診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の医師として社会に貢献したいという意欲と資質のある者を選抜する。

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）では、一次合格者は総合適性試験で判定し、二次合格者は総合適性試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に評価し判定する。

学校推薦型選抜（附属高等学校）では、適性試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に評価し判定する。

一般選抜、地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）では、一次合格者は学力試験で判定し、二次合格者は学力試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に評価し判定する。

<学力に関する試験>

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）：

理数系及び語学系の基礎学力と総合読解力や論理力、人文社会を含めた幅広い教養を有していることを見極めるために総合適性試験を行う。

学校推薦型選抜（附属高等学校）：

基礎知識を体系的に理解し、応用力を有していることを見極めるために適性試験を行う。

一般選抜：

医学を学ぶ上で基盤となる体系的な知識と確かな応用力を見極めるため、英語、数学、理科の学力試験を行う。英語ではコミュニケーションに必要な知識、読解力、表現力を、数学では論理的、数量的な思考能力を、理科では自然・生命の仕組みに関する十分な知識と科学的思考力を中心に評価する。

地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）：

医学を学ぶ上で基盤となる体系的な知識と確かな応用力を見極めるため、英語、数学、理科の学力試験を行う。英語ではコミュニケーションに必要な知識、読解力、表現力を、数学では論理的、数量的な思考能力を、理科では自然・生命の仕組みに関する十分な知識と科学的思考力を中心に評価する。

<小論文>

文章を読み、その内容を的確に読み取り、必要に応じて要約や詳述をする能力、また、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる能力を評価する。

<面接>

医学を学ぶ意欲、積極性及び自律性を有することを確認し、コミュニケーション能力、社会に向き合う態度、協調性、他者を尊重する姿勢、本学を志望した理由、自己 PR など医学を学ぶ者としての適性を見極め評価する。

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠）及び地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）を志望する者に対しては、将来、地域医療に従事する意欲を有することを確認する。

総合型選抜（特定診療科専攻枠）を志望する者に対しては、本学が指定する診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の診療に従事する意欲と適性を有することを確認する。

<調査書>

高校における学習成果、学修態度、課外活動などを確認する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定・学位授与に関する方針に設定している卒業時の到達目標（卒業時コンピテンス）が達成できるように、以下の方針の下、初年次教育・教養教育・医学専門教育からなる 6 年一貫の教育課程を編成し実施する。学生評価方法（アセスメント・ポリシー）を合わせて定める。

「医師になるための基本的な資質・能力」

1. 心身を適切に管理し、医師にふさわしいプロフェッショナリズム、他者への共感や他者との協働、自己省察力、医療者への教育力を身につけるための教育を行う。初年次から医学概論や臨床実習を継続的に行うことにより、医師としての生涯教育を開始する。これらの修得状況は実習態度・レポート・発表・試験により評価する。（プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢）
2. 学年の枠を超えて少人数のグループを編成することにより、能動的・自発的な学修を促し、コミュニケーション能力の基盤となる語学力を鍛える。低学年における早期体験実習・看護実習からシミュレーション実習と診療参加型臨床実習に至るまで、首尾一貫したカリキュラムを編成する。これらの修得状況は、提出レポートや学生による成果発表により評価する他、OSCE による実技試験、教員による口頭試験と筆記試験により継続的に評価する。（コミュニケーション能力、多職種連携能力）

「医学知識と医療技術の修得」

3. 日本の医師養成内容や過程を示した医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠し、器官・機能系統別に基礎医学と臨床医学を統合したカリキュラムを編成する。最新の情報・科学技術による問題解決能力や医療への活用能力を育成するためのカリキュラムを編成する。これらの修得状況は、正確な知識の積み重ねや応用力について、主に各学年の筆記試験により評価する。（情報・科学技術を活かす能力）
4. 医の倫理や心理学、行動科学、プライマリー・ケア、根拠に基づいた医療（EBM）を重視するカリキュラムを編成する。臨床実習では健康問題に対する包括的アプローチに関する教育を行う。これらの修得状況は、筆記試験や、医療チームを構成する様々な分野により継続的に達成度を評価する。（総合的に患者・生活者を見る姿勢、患者ケアのための診療技能）

「社会への貢献」

5. 地域医療を担う医師養成に対応するために、地域医療教育を重視し、公衆衛生学・疫学を包含するカリキュラムを編成する。また、国際社会における医療の現状と課題を理解し、対応するための講義のほか、国際的な医療現場への対応を可能とする英語教育を継続的に行う。これらの修得状況は、実習態度・レポート・口頭試験・試験により評価する。（社会における医療の役割の理解）

「高い問題解決能力」

6. 医学における科学研究の意義を学修するため、学生自らが主体的に研究実習を行う。科学的に未解決な問題を自ら発見し、その解決方法を探究すると同時に、専門知識に基づき、様々な情報を論理的・批判的に思考し解決を図る教育を行う。これらの修得状況は、各学年の筆記試験や実習における態度、教員や学生間の討論、レポートや発表により評価する。（科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力）

卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

建学の理念の下、「良医」を育成する卒業時の到達目標（卒業時コンピテンス）を設定し、この目標が達成できるように6年間の教育課程を編成している。この教育課程について学則に定める所定の授業科目の単位を全て修得し、かつ卒業試験に合格した者を卒業と認定し、学士（医学）の学位を授与する。

卒業時到達目標（卒業時コンピテンス）

「医師になるための基本的な資質・能力」

1. 生命に対する尊厳を理解し、他者に対して敬意と共感を持ち、診療においてそれを実践できる。そのために、心身を適切に管理し、自己省察の能力を身につけ、生涯にわたって資質の向上を図り、他の医療従事者と共に研鑽しながら、学び続けることができる。（プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢）
2. 医療人として医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わることになる多様な人々と円滑な人間関係を築くことができる。医学・医療の現場で適切にコミュニケーションし、安全かつ質の高い医療を実践することができる。（コミュニケーション能力、多職種連携能力）

「医学知識と医療技術の修得」

3. 発展する現代医学に対応して、高度な医療を理解する能力を持つ。そのために、土台となる基礎医学を正確に理解し、行動科学、臨床医学、社会医学などの多様な分野に応用する能力を身につけ、情報化社会の進展に対応して医学・医療に新技術を活用できる。（情報・科学技術を活かす能力）
4. 患者個人の苦痛や不安感に配慮し、確実に信頼される診療を実践できる。患者に対して思いやりと敬意を示し、その心理社会的背景なども考慮し、患者個人とその家族、地域社会のウェルビーイングを目指すことができる。（総合的に患者・生活者を見る姿勢、患者ケアのための診療技能）

「社会への貢献」

5. 医療の現状と課題・貢献の意義を理解し、保健・医療・福祉の資源を活用して、住民の疾病予防と健康増進に努めることができる。また、必要な外国語表現力を身につけ、国際的なコミュニケーションを取ることができる。（社会における医療の役割の理解）

「高い問題解決能力」

6. 基礎医学、臨床医学、及び社会医学における研究の意義を正しく理解し、科学的思考を基に学術・研究活動に勤しむことができる。同時に、根拠に基づいた医療を基盤として、科学的判断能力を発揮して問題に適切に対応できる。（科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力）

Ⅱ. 出願する前に（該当者のみ）

1 個別の入学資格審査 ※p.8 共通（7）に該当する者

本学では、「個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年3月末までに18歳に達するもの」について、出願を認めています。個別の入学資格審査を希望する者は、以下の要領で出願前に申請してください。

対象者	我が国の高等学校に相当する 外国人学校 を卒業した者又は卒業見込みの者で、2024年3月末までに18歳に達するもの
申請期間	2023年9月1日（金）～10月18日（水） 必着
提出書類	(1) 入学資格認定申請書 ※本学所定の様式1をホームページからダウンロードしてください。 (2) 学修歴の調書 ※本学所定の様式2をホームページからダウンロードしてください。 (3) 最終学校の卒業証明書又は卒業見込証明書（2023年9月1日以降に発行されたもの） (4) 最終学校の成績証明書又は調査書（2023年9月1日以降に発行されたもの） (5) 最終学校の教育課程が確認できるもの（授業科目、修業年限、授業時間数、必要単位数、学則等） (6) 返信用封筒（ レターパックプラスに限る ）の宛先に志願者の氏名・郵便番号・住所を明記したもの ※提出された書類は返却しません。
審査方法	入学資格認定審査は、申請書類に基づき審査します。
結果通知	結果は、返信用封筒を使用して通知します。 入学資格を認められた者には、「川崎医科大学入学資格認定書」を交付し、認められなかった者にはその旨を通知します。
出願について	「川崎医科大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、出願書類郵送時に必ず「川崎医科大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

2 疾病・負傷や障がい等がある入学志願者の事前相談

受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、以下の要領にて出願前に申請してください。

※事前相談は、受験上及び修学上の配慮事項について確認をするためのものであり、出願可否及び合否判定とは一切関係ありません。

※申請に基づき、配慮内容を決定します。決定に時間がかかる場合もありますので、可能な限り早めにご相談ください。

対象者	疾病・負傷や障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者
申請期間	2023年9月1日（金）～10月18日（水） 必着
提出書類	(1) 事前相談申出書 ※本学所定の様式をホームページからダウンロードしてください。 (2) 返信用封筒（ レターパックプラスに限る ）の宛先に志願者の氏名・郵便番号・住所を明記したもの ※提出された書類は返却しません。
結果通知	結果は、返信用封筒を使用して通知します。
出願について	出願書類郵送時に必ず通知文の写しを添付してください。

1及び2 提出先	〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577 川崎医科大学 教務課入試係 ※書留郵便で送付してください。 ※封筒表面に「 入学資格認定申請書在中 」もしくは「 事前相談申出書在中 」と 朱書き してください。
-------------	---

Ⅲ. 総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）【専願】

1 募集人員

中国・四国地域出身者枠【専願】 本学の建学の理念に賛同し、中国・四国地域での地域医療に貢献することを志す有為な人材を求める。	約20名
霧島市地域枠【専願】 本学の建学の理念に賛同し、霧島市内での地域医療に貢献することを志す有為な人材を求める。	約1名
特定診療科専攻枠【専願】 本学の建学の理念、本学附属病院及び総合医療センターの病院理念に賛同し、卒業後、本学が指定する診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の医師として社会の求める医療ニーズに貢献したいという強い意欲と熱意を有する人材を求める。	約4名

2 出願資格

共通 (1) ~ (7) のいずれかの項目に該当し、かつ出願枠の全ての項目に該当する者	
共通	<p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（2024年3月末までに卒業見込みの者を含む）</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又はこれに相当する学校教育を修了した者（2024年3月末までに修了見込みの者を含む）</p> <p>(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（2024年3月末までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（2024年3月末までに修了見込みの者を含む）</p> <p>(5) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、2024年3月末までに18歳に達するもの</p> <p>(7) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2024年3月末までに18歳に達する者を含む）</p>
中国・四国地域出身者枠【専願】	<p>(1) 建学の理念に賛同し、中国・四国地域での地域医療に貢献したいという志を持つ者</p> <p>(2) 高等学校若しくは中等教育学校を2020年3月以降に卒業した者（2024年3月末までに卒業見込みの者を含む）、又はそれと同等以上の学力があると認められた者</p> <p>(3) 2024年4月1日現在において18歳に達しており22歳以下の者</p> <p>(4) 中国・四国地域の高等学校出身の者、あるいは中国・四国地域の住民の者^(注) <small>(注)「中国・四国地域の住民」とは、志願者又は一親等の尊属が出願期間の最終日の4年前から引き続き中国・四国地域に住居登録をしている者をいう。</small></p> <p>(5) 中国・四国地域で地域医療に関わるもの（保護者を除く）が推薦する者</p> <p>(6) 中国・四国地域出身者枠【専願】で入学することを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者（合格した場合、入学を辞退できない。）</p> <p>(7) 卒業後、本学附属病院若しくは総合医療センター、又は本学が指定する臨床研修指定病院で初期臨床研修を含め6年間の研修を行うことを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者</p> <p>(8) 将来において、中国・四国地域で地域医療に貢献することを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者</p> <p>※中国・四国地域出身者枠【専願】の志願者は、霧島市地域枠【専願】及び特定診療科専攻枠【専願】に出願することはできない。</p>
霧島市地域枠【専願】	<p>(1) 建学の理念に賛同し、霧島市の地域医療に貢献したいという志を持つ者</p> <p>(2) 高等学校若しくは中等教育学校を2020年3月以降に卒業した者（2024年3月末までに卒業見込みの者を含む）、又はそれと同等以上の学力があると認められた者</p> <p>(3) 2024年4月1日現在において18歳に達しており22歳以下の者</p> <p>(4) 霧島市内の高等学校出身の者、あるいは霧島市の住民の者^(注) <small>(注)「霧島市の住民」とは、志願者又は一親等の尊属が出願期間の最終日の4年前から引き続き霧島市に住居登録をしている者をいう。</small></p> <p>(5) 鹿児島県内で地域医療に関わるもの（保護者を除く）が推薦する者</p> <p>(6) 霧島市地域枠【専願】で入学することを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者（合格した場合、入学を辞退できない。）</p> <p>(7) 卒業後、本学附属病院若しくは総合医療センター、又は本学が指定する臨床研修指定病院で初期臨床研修を含め6年間の研修を行うことを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者</p> <p>(8) 将来において、霧島市で地域医療に貢献することを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者</p> <p>※霧島市地域枠【専願】の志願者は、中国・四国地域出身者枠【専願】及び特定診療科専攻枠【専願】に出願することはできない。</p>
特定診療科専攻枠【専願】	<p>(1) 建学の理念に賛同し、特定診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の医師として医療に貢献したいという志を持つ者</p> <p>(2) 高等学校若しくは中等教育学校を2020年3月以降に卒業した者（2024年3月末までに卒業見込みの者を含む）、又はそれと同等以上の学力があると認められた者</p> <p>(3) 2024年4月1日現在において18歳に達しており22歳以下の者</p> <p>(4) 建学の理念、本学附属病院及び総合医療センターの病院理念に賛同する医療に関わるもの（保護者を除く）が推薦する者</p> <p>(5) 特定診療科専攻枠【専願】で入学することを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者（合格した場合、入学を辞退できない。）</p> <p>(6) 卒業後、本学附属病院若しくは総合医療センター、又は本学が指定する臨床研修指定病院で初期臨床研修を含め6年間の研修を行うことを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者</p> <p>(7) 初期臨床研修修了後、特定診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）のいずれかを自ら選択して後期臨床研修を行い、将来において、特定診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の医師として医療に貢献することを保護者及び推薦者が同意の上、確約できる者</p> <p>(8) 出身県等は問わない。</p> <p>※特定診療科専攻枠【専願】の志願者は、中国・四国地域出身者枠【専願】及び霧島市地域枠【専願】に出願することはできない。</p>

3 出願期間

出願期間	Web 出願登録・入学検定料の支払い	出願書類の郵送
	2023年11月1日(水) 9:00 ～11月7日(火) 15:00	2023年11月1日(水) 9:00 ～11月7日(火) 17:00 必着
注意事項	(1) 出願期間内に、必ず 手続を完了 させてください。※IV. Web 出願 (p.17～) を参照してください。 (2) 出願書類が出願期間内に到着しなかった場合は、受験することができません。	

4 出願書類

選抜区分		出願書類	[1] 入学願書	[2] 調査書	[3] 志望理由書	[4] 確約書	[5] 推薦書	[6] 住民票
総合型選抜	中国・四国地域出身者枠 【専願】		◎	◎	◎	◎	◎	○ (該当者のみ)
	霧島市地域枠 【専願】		◎	◎	◎	◎	◎	○ (該当者のみ)
	特定診療科専攻枠 【専願】		◎	◎	◎	◎	◎	

<注意事項>

- 記入が必要な出願書類は、すべて楷書で黒のボールペン（文字が消せるボールペンは不可）で明瞭に記入してください。
- 書類不備がある場合は、受理できません。
- いったん受理した出願書類及び入学検定料は、返還しません。
- 出願書類が出願期間内に到着しなかった場合は受け付けられませんので、入学検定料を支払い後、**早めに出願書類を郵送**してください。
- 提出された出願書類に不備がある場合（記入漏れ、顔写真が不適切 等）は、本学から志願者又は保護者へ直接連絡（主にメール、場合によっては電話）します。出願時に登録したメールアドレスをよく確認してください。

[1] 入学願書

- Web 出願サイトから出願する選抜区分を選択し、必要事項を入力してください。入力した内容が、入学願書・受験票に反映されます。

注1 <経歴>

- ① 高校卒業後又は高等学校卒業程度認定試験合格後から順に入力してください。
- ② 西暦で入力してください。
- ③ 学校名や勤務先等の後ろに 在学中／卒業／退学／中退／退職 等の現在の状態を入力してください。
- ④ 経歴が5つ以上ある場合は、経歴5に直近の経歴がくるように入力してください。

注2 <本学を志望した理由> <自己PR>

- ① それぞれ **300字以内**で入力してください。事前にテキストデータをご準備いただくとスムーズに入力できます。
- ② 入力画面では改行を行わないでください（確認画面や印刷した入学願書には反映されません）。

- (2) 入学検定料の支払い後に、**拡大・縮小はせずに A4 (片面) でカラー印刷**してください。

[2] 調査書

- (1) いずれの書類も **2023年9月1日以降発行のもの**に限ります。

a. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込み者	出身学校長が作成・厳封した調査書
b. 外国における12年の課程を修了した者又は見込み者	① 成績証明書 ② 修了（見込）証明書又は卒業証書の写し
c. 在外教育施設を修了した者又は修了見込み者	文部科学省の定めた調査書に準じて出身学校長が作成・厳封したもの
d. 高等学校卒業程度認定試験合格者	合格成績証明書

注1) 証明書の発行に時間がかかる場合がありますので、出身学校等に確認の上、余裕を持って取り寄せてください。

注2) 改姓等の理由により調査書等に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、変更内容が確認できる公的書類（戸籍抄本等）を同封してください。

注3) 上記 a～d **以外**の場合は、**個別の入学資格審査の対象となります**ので、p.6を参照してください。

[3] 志望理由書

- (1) Web 出願サイトの「事前準備」に掲載している本学所定の様式を**拡大・縮小はせずに A4 で印刷**してください。
- (2) 800 字以内で**手書きで記入**してください。
 - 中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠・・・地域医療に貢献することを志す理由
 - 特定診療科専攻枠・・・特定診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の医師として医療に貢献することを志す理由
- (3) すべて楷書で黒のボールペン（文字が消せるボールペンは不可）で明瞭に記入してください。
- (4) 受験番号欄には、入学検定料の支払い後、入学願書に印字される受験番号を記入してください。

[4] 確約書

- (1) Web 出願サイトの「事前準備」に掲載している本学所定の様式を**拡大・縮小はせずに A4 で印刷**してください。
- (2) 志願者、保護者及び推薦者が署名（自署）・捺印してください。
- (3) すべて楷書で黒のボールペン（文字が消せるボールペンは不可）で明瞭に記入してください。
- (4) 受験番号欄には、入学検定料の支払い後、入学願書に印字される受験番号を記入してください。

[5] 推薦書

- (1) Web 出願サイトの「事前準備」に掲載している本学所定の様式を**拡大・縮小はせずに A4 で印刷**してください。
- (2) 保護者以外の推薦者が作成したものを厳封してください。

～推薦者の条件～

 - 中国・四国地域出身者枠・・・中国・四国地域で地域医療に関わる者
 - 霧島市地域枠・・・鹿児島県内で地域医療に関わる者
 - 特定診療科専攻枠・・・本学の建学の理念、本学附属病院及び総合医療センターの病院理念に賛同する医療に関わる者
- (3) すべて楷書で黒のボールペン（文字が消せるボールペンは不可）で明瞭に記入してください。

もしくは、PDF データに直接入力した後、**拡大・縮小はせずに A4 で印刷**してください。ただし、**推薦者氏名は必ず自署**してください。
- (4) 受験番号欄は空欄で構いません。

[6] 住民票 <中国・四国地域出身者枠> <霧島市地域枠> の**該当者のみ**

- (1) 該当者は以下のものを提出してください。
 - 中国・四国地域出身者枠・・・中国・四国地域**以外**の高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者は、志願者又は一親等の尊属が 2019 年 11 月 7 日以前から引き続き中国・四国地域に居住していることが証明できる住民票の写し
 - 霧島市地域枠・・・霧島市**以外**の高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者は、志願者又は一親等の尊属が 2019 年 11 月 7 日以前から引き続き霧島市に居住していることが証明できる住民票の写し

[7] 出願書類提出用宛名シート

- (1) Web 出願サイトから**拡大・縮小はせずに A4 でカラー印刷**してください。
- (2) 必要な出願書類一式を入れた市販の封筒（角 2 号）に貼付し、**簡易書留速達**で郵送してください。

5 入学検定料

	支払方法	入学検定料	手数料	合計
1	クレジットカード VISA/Master/JCB AMERICAN EXPRESS MUFG カード/DC カード UFJ カード/NICOS カード	60,000 円	2,000 円	62,000 円
2	ネットバンキング			
3	コンビニエンスストア セブン-イレブン デイリーヤマザキ/ヤマザキデイリーストア ローソン/ミニストップ ファミリーマート セイコーマート			
4	Pay-easy 対応 銀行 ATM			

※一度納入された入学検定料は、返金しません。

6 試験日程・試験科目・選抜方法等

	第一次試験	第二次試験
日 時	2023年11月11日(土) (開場予定時刻 8:00) (終了予定時刻 17:15)	2023年11月18日(土) 本学が指定する時刻 (開場予定時刻 8:00) (終了予定時刻 未 定)
試験科目	<ul style="list-style-type: none"> ●総合適性試験（総合読解力・論理力などを問う試験） 英語 数学 理科（物理・化学・生物の合計3科目が出題されるが、任意の2科目を選んで解答する） 国語・一般教養（時事問題を含む） ●小論文 	面 接
選抜方法	第一次試験合格者は総合適性試験で判定する。	第二次試験合格者は総合適性試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に評価し判定する。
試験場	川崎医科大学	
備考	試験場入口にて受験票を提示してください。	

7 受験上の注意

- (1) 試験前日等に試験場に立ち入ることはできません。
- (2) 試験日時は原則として変更しません。ただし、交通機関の大幅な乱れが生じ、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合は、試験開始時刻を繰り下げる等の処置をとる場合があります。これらの対応をとる際には、本学ホームページでお知らせしますので、各自で確認してください。
また、繰り下げ等に伴う受験者の不利益については、本学は責任を負いません。
- (3) 受験者以外の方は試験場内に入ることができないため、付添人控室はありません。試験日程終了後の受験者と付添人との待ち合わせは、本学 校舎棟玄関前としてください。
- (4) 川崎学園（川崎医科大学や川崎医療福祉大学等を含む）の建物内及び敷地内は**全面禁煙**です。また、敷地外であっても、近隣住民や通行人に迷惑となるので、周辺道路、バス停、店舗周辺等での喫煙は自粛を求めます。
- (5) 試験場開場予定時刻や集合時刻より早く来場された場合でも、試験場内には入場できません。

～学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意～

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（COVID-19、インフルエンザ、麻疹、水ぼうそう等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師により伝染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験等の措置は行いません。また、入学検定料の返還は、申請書及び医師による診断書の提出が可能な場合に限り、認めます。

試験当日までの体調管理については、十分に注意してください。

【第一次試験】

- (1) 試験場入口は **8:00 に開場予定**です。試験場入口で受験票の確認を行います。受験票を忘れた又は紛失した場合は、大学係員に申し出てください。
- (2) 試験室には **8:00～8:40 までに入室・着席**してください。
- (3) 試験問題の配付及び試験開始・終了の合図は、チャイムで行います。
- (4) 試験開始後 20 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。なお、各科目の試験開始後 20 分を経過した遅刻者は、以降の科目を受験することができません。
- (5) 指定された科目を全て受験していない場合は、合否判定の対象になりません。
- (6) 試験時間中、机の上に置けるものは以下のとおりです。それ以外の物は荷物の中に入れ、各自の座席下にまとめて置いてください。
 - ・受験票
 - ・筆記用具（HB 鉛筆・HB シャープペンシル・消しゴム）
 - ※学内での販売及び貸出は行いません。また、受験者同士での筆記用具の貸し借りは絶対に行わないでください。
 - ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）
 - ※試験場内に時計はありません。電子機器類等を時計として使用することはできません。
 - ・眼鏡（ケースから取り出したもの）

- (7) 健康上の理由で以下の使用を希望する場合は、監督者に申し出て許可を得てください。
- ・ハンカチ（無地）
 - ・ひざかけ（無地）
 - ・ティッシュペーパー（中身のみ・無地）
 - ・目薬、点鼻薬 等
- (8) 試験室内では、休憩時間中も電子機器類全ての使用を禁止します。電源を切って荷物の中に入れてください。試験時間中の電子機器類の使用は、不正行為とみなします。不正行為や不正とみなされるような行為があった場合は、受験を中止させることがあります。また、不正行為を行った場合は、全ての科目の成績を無効とします。
- (9) 試験時間中に、荷物の中で着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずに荷物等を試験室外に持ち出して保管し、その試験時間の終了後に返却します。
- (10) 耳栓・イヤホンは、監督者の指示等を聞き取れなくなるため、使用を禁止します。
- (11) 英文字がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- (12) 試験時間中の飲食（水、飴、ガム等）を禁止します。
- (13) 試験開始後は、原則として退出できません。ただし、試験中、トイレの使用等やむを得ない理由で一時退出を希望する者は、監督者に申し出てください（試験開始後 20 分間及び試験終了 5 分前～解答用紙等の回収が終了するまでは、やむを得ない理由であっても退出できません）。やむを得ない理由で一時退出した場合でも、試験時間の延長は行いません。
- (14) 試験時間中に起こりうる以下のような生活騒音等が発生した場合でも、救済措置は行いません。
- ・監督者の巡回等による足音
 - ・航空機や自動車、空調等の音
 - ・周囲の受験者の咳やくしゃみ、鼻をすする音
 - ・スマートフォンや携帯電話、時計等から発せられた短時間の音
- (15) 他の受験者への迷惑となる行為等があった場合は、試験室の移動を指示することがあります。なお、試験室を移動する場合でも、試験時間の延長は行いません。
- (16) 各科目終了後、問題冊子、解答用紙等は全て回収します。
- (17) 試験場内の食堂・売店の利用はできません。昼食は各自で持参し、自席でとってください。なお、昼食時のゴミは各自持ち帰ってください。
- (18) 試験場内では、受験者同士の会話を極力控えてください。

【第二次試験】

- (1) 試験場入口は **8:00 に開場予定**です。第一次試験合格発表時（本学校舎棟前掲示板及び本学合否案内サイト [<http://www.gouhi.com/kawasaki-m/>]）に記載されている集合時刻から試験場入口で受験票の確認を行います。受験票を忘れた又は紛失した場合は、大学係員に申し出てください。
- (2) 集合時刻に遅刻した場合は、受験することができません。
- (3) 必ず以下のものを持参してください。
- ・受験票
 - ・筆記用具（HB 鉛筆・HB シャープペンシル・消しゴム）
- ※学内での販売及び貸出は行いません。また、受験者同士での筆記用具の貸し借りは絶対に行わないでください。
- (4) 面接控室、面接待機室、面接室内では、電子機器類全ての使用を禁止します。電源を切って荷物の中に入れてください。これらの室内での電子機器類の使用は、不正行為とみなします。不正行為や不正とみなされるような行為があった場合は、受験を中止させることがあります。また、不正行為を行った場合は、全ての科目の成績を無効とします。
- (5) 荷物の中で着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、大学係員の指示に従ってください。
- (6) 試験場内では、受験者同士の会話を極力控えてください。

8 合格発表

- (1) 本学校舎棟玄関前に合格者の受験番号を掲示します。

	第一次試験	第二次試験
日 時	2023 年 11 月 14 日（火） 12:00	2023 年 11 月 21 日（火） 12:00
備 考	第一次試験合格者の受験番号と第二次試験の集合時刻を掲示します。	(1) 第二次試験合格者は、Web 出願サイトから合格通知書及び入学手続書類を確認してください。 (2) 第二次試験終了後、全推薦者に合否を文書で通知します。

- (2) 本学合否案内サイト [<http://www.gouhi.com/kawasaki-m/>] から確認することもできます。サイト上での誤操作や読み違いが理由で第二次試験を欠席しても、本学は一切の責任を負いません。また、サイト上でデータの改ざんや通信上のトラブル等が発生しても、本学は一切の責任を負いません。
- (3) 合否に関する問い合わせには一切応じません。

合否案内サービスについて

スマートフォンおよびパソコンで合否の確認ができます。

【合否案内サービス利用上の注意】

- 当サービスの「誤操作」「見間違い」等に対して、本学は一切責任を負いません。
- 利用時間は学生募集要項でご確認ください。＊期間外は見ることができません。
- サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらくたってから再度操作をしてください。
- 機材の性能や接続方法、ブラウザ設定などにより表示に時間がかかったり、文字化けが発生する場合があります。

WEB(スマートフォン・パソコン)による合否確認方法

下記のアドレス(URL)またはQRコードからアクセスしてください。間違いのないようアドレスを確認のうえ、アクセスしてください。

<https://www.gouhi.com/kawasaki-m/>



このQRコードからもアクセスできます

① スマートフォンによる合否確認方法

必要事項を入力

川崎医科大学
あなたの受験番号4桁を入力してください。

あなたの誕生日を4桁で入力してください。
(例:4月2日→0402)

出願登録時の受付番号(12桁)を入力してください。

よろしいですか?

※出願登録時の受付番号(12桁)
…受験票氏名右下に記載

川崎医科大学
あなたは
■●選抜
○○学部△△学科
受験番号0000番
ですね。
よろしいですか?

入力した必要事項の内容を確認してください。

合否案内が画面に
表示されます。

② パソコンによる合否確認方法

必要事項を入力

川崎医科大学
あなたの受験番号4桁を入力してください。

あなたの誕生日を4桁で入力してください。
(例:4月2日 → 0402)

出願登録時の受付番号(12桁)を入力してください。

よろしいですか?

※出願登録時の受付番号(12桁)…受験票氏名右下に記載

川崎医科大学
あなたは
■●選抜○○学部△△学科
受験番号0000番ですね。
よろしいですか?

入力した必要事項の内容を確認してください。

合否案内が画面に
表示されます。

※図はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります

9 入学手続

入学手続期間	備 考
<第1回入学手続期間> 2023年11月21日(火)～11月29日(水) 消印有効 <第2回入学手続期間> 2024年3月31日(日) 必着	(1) 入学手続は2段階に分かれています。Web出願サイトに掲載されている入学手続要項をよく読んで、それぞれに必要な入学手続を行ってください。 (2) 総合型選抜【専願】の合格者は、 入学を辞退できません 。 また、入学手続後は、納入した入学金及び学費等は返還しません。

10 入学前学習

総合型選抜【専願】の合格者には、入学前学習として<大学が課す独自課題【必須】>に取り組んでいただきます。また、<業者が提供する講座(受講料は受講者負担)【任意】>も推奨しています。

詳細については、合格発表後、出願時に登録したメールアドレスに通知します。

11 学納金

2024年度入学金及び学費・諸会費は次のとおりです。

	項 目	初 年 度	次年度以降(毎年)
入学金及び学費	入 学 金(入学時のみ)	2,000,000円	—
	授 業 料(年 額)	2,000,000円	2,000,000円
	教 育 充 実 費(年 額)	6,500,000円	5,000,000円
	小 計	10,500,000円	7,000,000円
納 入 期 限		2023年11月29日(水)	

※留年した場合の学費のうち、授業料は卒業まで変更されませんが、教育充実費は留年により再度履修する年度に属する金額に変更されます。

諸 会 費	寮 費(年 額) <1学年のみ>	800,000円	—
	食 費(年 額) <1学年のみ> <土日祝を除く朝夕>	注) 360,000円	—
	学 友 会 入 会 金(入学時のみ)	20,000円	—
	学 友 会 費(6か年分)	120,000円	—
	保 護 者 会 入 会 金(入学時のみ)	30,000円	—
	保 護 者 会 費(年 額)	30,000円	30,000円
	保 護 者 互 助 会 費(6か年分)	360,000円	—
	卒 業 ア ル バ ム 負 担 金(入学時のみ)	30,000円	—
	小 計	1,750,000円	30,000円
納 入 期 限		2024年3月29日(金)	

合 計	12,250,000円	7,030,000円
-----	-------------	------------

6 年 間 総 計	47,400,000円
-----------	-------------

注) 食費は変更する場合があります。また、アレルギー等で個別対応が必要な場合は、別途費用が必要となることがあります。

12 学生寮

本学では1学年は、学生寮に入寮することが義務づけられています。

13 寄附について(保護者の方へ)

本学では、医学教育の更なる振興を図るため、入学式後において任意による寄附金を募ることにしております。ご理解とご協力をお願いいたします。

14 奨学金制度等

【日本学生支援機構奨学金制度】

人物、学業成績ともに優れ、かつ経済的理由により就学困難な者は、日本学生支援機構の選考を経て、奨学金の貸与を受けることができます。

【特待生制度】

本学学生表彰規程に基づき、1学年～5学年の成績優秀者には翌年度の特待生として川崎学園育英会から授業料相当額の奨学金が給付されます。

15 個人情報の取り扱い

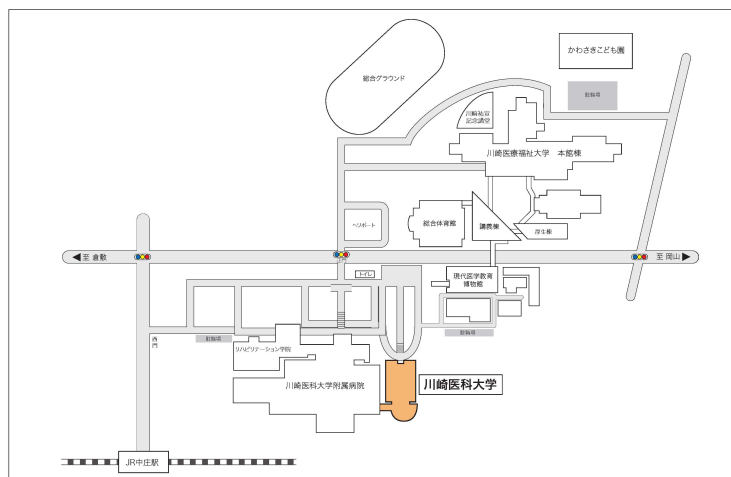
志願者・受験者・入学者から収集した個人情報は、川崎医科大学個人情報保護方針（プライバシーポリシー）に従って適正に管理・運用します

16 Q&A

Q 1	<p>中国・四国地域出身者枠の推薦者で「地域医療に関わる者」とは、どのような人ですか？</p> <p>中国・四国地域で地域医療に関わっている人で、職種は医師に限定するものではありませんので、広く解釈してください。保護者以外の方で、例えば「志願者が地域医療に強い関心を持っているということを知っている人」、「中国・四国地域や岡山の医療の現状をよく理解されている人」、「本学の教育理念・方針などをよく理解されている人」など。</p> <p>推薦者の居住地は中国・四国地域以外でもかまいませんが、中国・四国地域で地域医療に携わっていることが条件となります。</p>
Q 2	<p>霧島市地域枠の推薦者で「地域医療に関わる者」とは、どのような人ですか？</p> <p>鹿児島県内で地域医療に関わっている人で、職種は医師に限定するものではありませんので、広く解釈してください。保護者以外の方で、例えば「志願者が地域医療に強い関心を持っているということを知っている人」、「霧島市の医療の現状をよく理解されている人」、「本学の教育理念・方針などをよく理解されている人」など。</p> <p>推薦者の居住地は鹿児島県以外でもかまいませんが、鹿児島県内で地域医療に携わっていることが条件となります。</p>
Q 3	<p>特定診療科専攻枠の推薦者で「医療に関わる者」とは、どのような人ですか？</p> <p>職種は医師に限定するものではありません。保護者以外の方で、「建学の理念、本学附属病院及び総合医療センターの病院理念に賛同し、志願者が特定診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）に強い関心を持っているということを知っている人」など。</p> <p>推薦者の居住地は問いません。</p>
Q 4	<p>特定診療科専攻枠の出願資格に出身地・出身高校等の制限はありますか？</p> <p>ありません。全国から出願可能です。</p>
Q 5	<p>総合型選抜の中で複数の枠を志願することはできますか？</p> <p>中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠のうち、いずれか 1 つしか志願できません。</p>
Q 6	<p>総合型選抜の日程や試験問題は、枠によって異なるのですか？</p> <p>中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠は同じ日程、試験問題です。</p>
Q 7	<p>「総合適性試験」とは、どのような試験ですか？</p> <p>総合適性試験について、アドミッション・ポリシーの「入学者選抜方針」に以下のように示しています。</p> <div data-bbox="225 1070 1485 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>理数系及び語学系の基礎学力と総合読解力や論理力、人文社会を含めた幅広い教養を有していることを見極めるために総合適性試験を行う。</p> </div> <p>これに基づき、英語・数学・理科（物理・化学・生物より 2 科目を選択）・国語・一般教養（時事問題を含む）に関する広範囲にわたる分野から問題を出題します。</p>
Q 8	<p>小論文はどのような内容ですか？</p> <p>小論文について、アドミッション・ポリシーの「入学者選抜方針」に以下のように示しています。</p> <div data-bbox="225 1328 1485 1417" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>文章を読み、その内容を的確に読み取り、必要に応じて要約や詳述をする能力、また、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる能力を評価する。</p> </div> <p>これに基づき、読解力や要約する能力、設問の意図を正しく理解し、求めに応じて自分の考えを論理的にまとめる能力などを評価します。</p>
Q 9	<p>どのようなスケジュールで行われますか？</p> <p>第一次試験は、9：00～17：15（予定）に、上記の内容の総合適性試験と小論文を行います。第二次試験は、本学が指定する日時に面接を行います。</p>
Q 10	<p>面接はどのような内容ですか？</p> <p>面接について、アドミッション・ポリシーの「入学者選抜方針」に以下のように示しています。</p> <div data-bbox="225 1653 1485 1888" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>医学を学ぶ意欲、積極性及び自律性を有することを確認し、コミュニケーション能力、社会に向き合う態度、協調性、他者を尊重する姿勢、本学を志望した理由、自己 PR など医学を学ぶ者としての適性を見極め評価する。</p> <p>総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠）及び地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）を志望する者に対しては、将来、地域医療に従事する意欲を有することを確認する。</p> <p>総合型選抜（特定診療科専攻枠）を志望する者に対しては、本学が指定する診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の診療に従事する意欲と適性を有することを確認する。</p> </div> <p>これに基づき、コミュニケーション能力や協調性などを評価するため、多角的な質問を行います。</p>

Q11	総合型選抜で入学した場合、一般選抜で入学した学生とカリキュラムに違いがありますか？ カリキュラムは一般選抜や地域枠選抜で入学した学生と同じですが、正課外で特別講義（地域医療あるいは特定診療科の医療に関する特別講義）があります。 総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠）で入学した学生は、地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）で入学した学生とともに「地域医療ゼミ」として、小グループに分けて指導します。地域医療ゼミの小グループの指導教員は、1年次から卒業まで担当します。 総合型選抜（特定診療科専攻枠）で入学した学生は、「特定診療科ゼミ」として、小グループに分けて指導します。特定診療科の教員が、特定診療科ゼミの指導教員として1年次から卒業まで担当します。
Q12	初期臨床研修及び後期臨床研修の期間は何年間でしょうか？ 総合型選抜で入学した場合は、卒業後、本学附属病院若しくは総合医療センター、又は本学が指定する臨床研修指定病院で初期臨床研修を含め6年間の研修を行っていただきます。 〔参考〕川崎医科大学附属病院 臨床教育研修センター・良医育成支援センターHP < https://h.kawasaki-m.ac.jp/kcet/ >
Q13	6年間の研修修了後、すぐに中国・四国地域や霧島市、特定診療科で勤務する必要がありますか？ 6年間の研修修了後、すぐに携われなくても大丈夫です。中国・四国地域や霧島市の地域医療に必要と思う研鑽を積むために指定地域外で勤務することもあれば、大学院進学あるいは海外留学等に行くこともあると思われます。将来において指定地域の地域医療に携わるのであれば、途中で寄り道することは構いません。特定診療科においても同様です。
Q14	特定診療科専攻枠（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）で合格した場合、志望する診療科を決めるのはいつですか？また、どの診療科でも良いのですか？ 初期臨床研修修了後、後期臨床研修を開始するまでに専攻する診療科を決めてください。救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科であれば、どの診療科でも構いません。
Q15	特定診療科専攻枠（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）で合格した場合、途中で離脱することはできますか、あるいは志望する診療科を変更することはできますか？ 離脱はできません。ただし、後期臨床研修修了後、救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科の中で診療科を変更することは可能です。
Q16	Web出願のサイトにいつからアクセスできるようになりますか？ 8月上旬に公開する予定です。
Q17	Web出願では、出願のときに郵送する書類は全くないのですか？ Web出願の後、出願書類の郵送が必要です。手書きで記載する出願書類もありますので、必ず学生募集要項を確認してください。
Q18	入学検定料を納付しましたが、出願を取りやめたいです。入学検定料は返金されますか？ 一度納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返金しません。
Q19	提出した書類は返却してもらえますか？ いったん受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
Q20	留学や、海外からの研修生の受入について教えてください。 本学HPに掲載しています。< https://m.kawasaki-m.ac.jp/education/international.php >
Q21	総合型選抜で不合格となった場合、一般選抜等を受験することはできますか？ 受験できます。新たに入学検定料の支払いや出願書類の送付等の手続が必要です。

17 試験場案内



■新幹線をご利用の方

上り、下りとも「岡山駅」下車・乗換え

JR山陽本線・伯備線「中庄（なかしょう）駅」下車、徒歩約15分

※「新倉敷駅」下車は不便です。

■電車をご利用の方

JR山陽本線・伯備線「中庄（なかしょう）駅」下車、徒歩約15分

- ・岡山駅→「中庄（なかしょう）駅」：12分
- ・倉敷駅→「中庄（なかしょう）駅」：5分

■タクシーをご利用の方

岡山駅から約40分、倉敷駅から約20分

■飛行機をご利用の方

岡山空港からタクシーで約40分

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP 1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データなど



STEP 2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/m.kawasaki-m/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://m.kawasaki-m.ac.jp/>

からアクセス



STEP 3

マイページの登録

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って
「仮登録メールを送信」を
クリックしてください。

③ユーザー登録画面から
「ログインページへ」を
クリックしてください。

④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた「初期パスワード」にて
「ログイン」を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
「次へ」を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
「この内容で登録する」を
クリックしてください。

STEP

5



入学検定料の支払い

*お支払いには期限がありますのでご注意ください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブンイレブン

Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなあん、コンビニ、FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

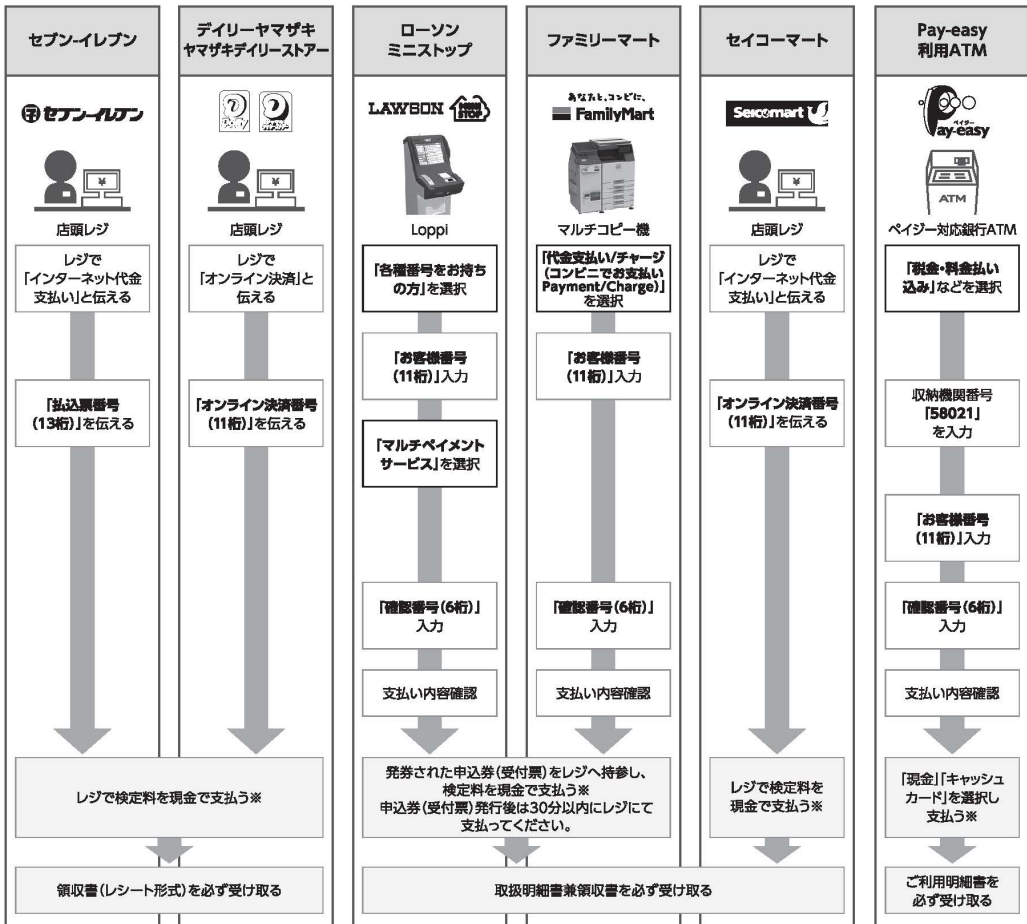


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM

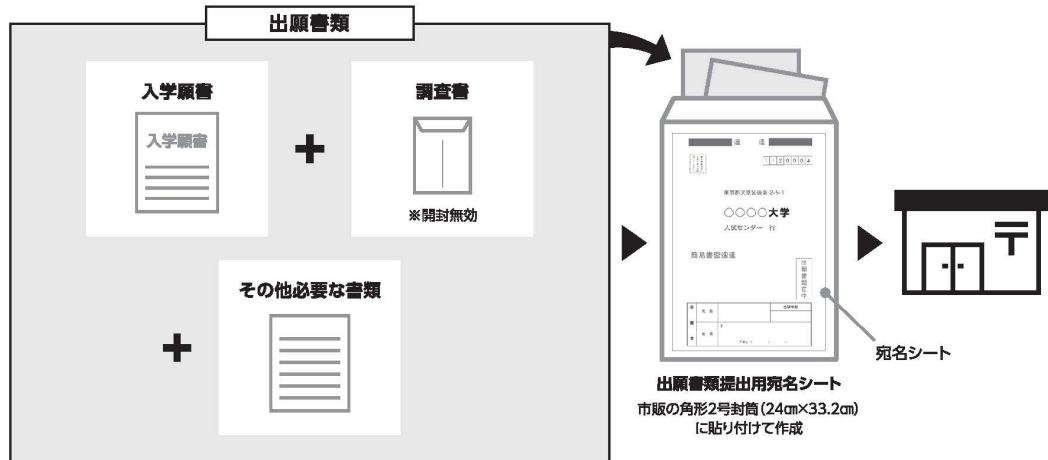


*ゆうちよ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP**6****出願書類の印刷と郵送**

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。**※出願締切日必着。**

**送付先**〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
川崎医科大学 教務課入試係 行**■ 出願書類**

詳細は学生募集要項「出願書類」を確認してください。

※いったん受理した入学検定料・出願書類は一切返却しません。

「入学願書」の印刷方法

- (1) マイページに表示された **入学願書 (印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **入学願書 (印刷)** のボタンがクリックできるようになり入学願書の出力ができます。

〈出願完了〉**出願時の
注意点**

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。**登録が完了しても出願書類が出願期間内に到着しなかった場合は、受験することができませんので注意してください。**

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日15時まで、入学検定料の支払いは出願登録した翌日の23時59分(出願締切日に出願登録した場合は、当日の15時)まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、出願書類の郵送は出願締切日必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP**7****受験票の印刷**

入金を確認後、受験票をWeb出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、**必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)**。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**にしてください。





川崎医科大学 教務課 入試係

〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

TEL (086) 464-1012/FAX (086) 464-1019

MAIL : nyushi@med.kawasaki-m.ac.jp